

## 令和1・2年度複合構造委員会 第3回幹事会 議事録

日 時：令和元年9月4日（水）14:30～17:00

場 所：鹿島建設四国支店 会議室

出席者：下村委員長，松本(高)副委員長，大久保幹事長，大山幹事，川端幹事，北根幹事，~~齊藤(成)幹事~~，齋藤(隆)幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，牧幹事，溝江幹事，皆田幹事，高橋委員（橋本幹事代理），~~王藤~~事務局

### 配布資料：

- 幹3-0 令和1・2年度複合構造委員会第3回幹事会議事次第
- 幹3-1 令和1・2年度複合構造委員会第2回幹事会議事録（案）
- 幹3-2 メール審議の報告
- 幹3-3-1 令和元年度委員会予算執行状況
- 幹3-3-2 令和元年度委員会予算
- 幹3-4 令和元年度年次学術講演会（共通セッション）
- 幹3-5-1 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
- 幹3-5-2 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム(講演原稿投稿画面)
- 幹3-6 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 幹3-7 複合構造の継続教育
- 幹3-8 出版関連報告
- 幹3-9 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹3-10 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹3-11 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 幹3-12 H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会
- ~~幹3-13 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会~~
- 幹3-14 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹3-15 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- ~~幹3-16 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会~~
- 幹3-17 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- ~~幹3-18 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会~~
- 幹3-19 2019 JSCE Annual Meeting International Roundtable Meeting

## 議事内容：

### 1. 委員長挨拶

第3回幹事会の開会にあたり、下村委員長より挨拶がなされた。

### 2. 複合構造委員会第2回幹事会議事録案確認（幹3-1）

平幹事より、資料に基づき説明があり、以下の点を修正した上で承認された。

- ・3. 複合構造委員会第1回委員会議事録案確認の中で、議事録案が「了承」→「確認」、に修正する。

また、示方書の増刷について出版委員会に確認したところ、オンデマンドは定価よりも高くなること、3編セットは資産計上の関係からバラ売りできないとのことであった。現行示方書が購入希望者に提供できなくなる事態は好ましくないため、今後、在庫がなくなりさらに購入希望があったときに対応を検討することとなった。

### 3. メール審議の報告（幹3-2）

大久保幹事長より、資料に基づいて説明がなされ、メールで審議された、令和元年度の予算案、H005小委員会の委員交代が承認されたことが報告された。

### 4. 令和元年度委員会予算案と予算執行状況（幹3-3-1, 幹3-3-2）

大久保幹事長より、資料に基づいて説明がなされ、H215小委員会で会議場の使用による予算執行があったこと、特集号校正はH101小委員会ではなくH005小委員会による予算執行に修正したことが報告された。また、例年、全国大会の研究討論会に充てる予備費を割り振ったため、各研究小委員会の予算は3万円であることが確認された。

### 5. 令和元年度全国大会・年次学術講演会（資料無し）

大山幹事より、9/5の複合構造セッションは3つあることが報告された。当日に活発な質疑がなされるように、各幹事には、協力をお願いしたいとのことであった。

### 6. 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（幹3-5-1, 幹3-5-2）

仁平幹事より、資料に基づいて説明がなされた。

- 実行WG, 論文WGのメンバー構成に誤りはないことが確認され、H001小委員会の委嘱状が後日送付されることが報告された。
- アブストラクトの投稿数72件に対して、論文の投稿数は現時点で60件（土木、建築の投稿数は集計中）であること、論文数編の締切延長の申し出があり、9/9までには投稿数が確定する見込みであることが確認された。
- 特別講演を依頼している稲田先生は、鹿児島からの移動になるため、交通費を支給することが報告された。交通費は、シンポジウム行事収入から支出することとなった。
- 11/15に予定されている見学会で使用するバス等の費用は、見学会の参加費の徴収による収入を差し引いて6万円程度であり、これをシンポジウム行事収入から支出すること、不足する場合は予備費から支出することとなった。
- 学会誌10月号に掲載予定の会告には、見学会の参加者を募集する旨を記載することとなった。

- 見学会の参加者が、情報発信数に含まれるように、工藤事務局に参加者名簿を渡して計上を依頼することとなった。
- 各セッションの座長候補は、9/18に予定されている実行WGで検討予定であることが確認された。
- 論文発表がなく、座長のみで参加される方は、シンポジウムおよび意見交換会の参加費を免除することが確認された。
- 行事計画書を作成し、次回幹事会（11/13）に提出することが確認された。
- 東京湾臨港道路南北線の工事事務所では、沈埋函や橋梁の名前を公募していることが報告された。後日、仁平幹事から、幹事会メーリングリストで詳細が配信される予定である。

## 7. 土木学会論文集A1特集号：複合構造（幹3-6）

高橋委員（橋本幹事の代理）より、資料に基づいて説明がなされ、次号の土木学会論文集A1特集号から討議を受け付けることが承認された。

- これまでは、シンポジウムでの質疑を討議に替えていたが、特集号投稿時にはある程度修正がなされるため、修正後の論文に対して議論をした方がよいとの結論に至ったことが報告された。
- 討議の受付方法は、論文投稿システムの使用も可能であるが、スケジュールが半年と短いため、応用力学論文集A2で採用されているメール受付を採用することが報告された。
- 討議の受付要領については、応用力学論文集A2のものを参考に作成することが報告された。
- 討議は査読の対象になるが、査読期間が限られているため、議論が噛み合わない場合の対応などの詳細を検討する必要があるとの意見があった。また、査読の目的は、内容の確認とともに、議論が噛み合うように調整すること、感情的な指摘や回答を防ぐことであることが確認された。

## 8. 複合構造の継続教育（幹3-7）

溝江幹事より、資料に基づいて説明がなされた。

### (1) 複合構造セミナー

- 9/10にWGを開催し、本格的に活動を開始することが報告された。
- 参加要請については、会告に掲載され次第、大久保幹事長から依頼することが確認された。
- タイトル括弧内の片側「～」はサブタイトルの意味であり、括弧を削除するなど調整して両側に「～」と付けることとなった。

### (2) eラーニング

- 意見照会を進めていることが報告された。

## 9. 出版関係報告（幹3-8）

平幹事より、資料に基づいて説明がなされ、示方書が5セット購入されるなどの状況が説明された。

- 残部がいくつになれば連絡があるかは明確でないが、残数が少なくなると、出版委員会の事務局から各小委員会の委員長、幹事長、及び複合構造委員会から出版委員会に参加している平幹事に連絡があるとのことであった。
- 改訂中の示方書は、再来年度の4月か5月に出版される予定であり、来年度の出版計画には入っていないことが確認された。

## 10. 小委員会報告審議事項（幹3-9～幹3-17）

### (1) 複合構造委員会小委員会一覧(幹3-9)

大久保幹事長より、資料に基づいて説明があり、各小委員会の終了時期、講習会の開催時期、第二期の申請予定が確認された。

### (2) H101 複合構造標準示方書小委員会（幹 3-10）

大久保幹事長より、資料に基づいて説明がなされた。下記の委員の交代があり、メール審議を行うことが報告された。星加委員（大林組）→ 喜多委員（大林組）に変更。

### (3) H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会（幹 3-11）

特になし。

### (4) H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会（幹 3-12）

平幹事より、資料に基づいて説明がなされ、趙先生（浙江大学）を委員として追加したいとの報告があり、幹事会です承された。第一種委員会のため、親委員会でメール審議を行う。

### (5) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会（資料なし）

溝江幹事より説明がなされ、8月末に通読を依頼し、査読担当は、平幹事（主査）、牧幹事、皆田幹事であることが報告された。

### (6) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会（幹 3-14）

下村委員長より、資料に基づいて説明がなされ、第二期小委員会の初回委員会が8月に開催されたこと、2つのWGで検討を進めることが報告された。また、委員名簿に更新があり、小林委員の所属を更新することが確認された。

### (7) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（幹 3-15）

仁平幹事より、資料に基づいて説明がなされ、10/8に次回小委員会を開催すること、来年度に報告書を出版予定であるため、9月末までに出版企画書を提出することが報告された。

### (8) H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会（資料なし）

平幹事より、報告書の作成を進めており、9月末締切りの出版企画書を提出すること、委員会を9/10に開催予定であることが報告された。

### (9) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会(幹 3-17)

松本副委員長より、資料に基づいて説明がなされ、7/30に全体委員会を開催したこと、報告書は出版しないこと、来年2月に報告会を開催予定であること、報告会では発表スライドを配布資料とすること、第二期の活動を申請すること、第二期に報告書を出版するかは未定であることが報告された。また、北根委員、栗橋委員、三ツ木委員の所属変更、新規で山崎委員（ヒビ）が参加することが確認された。

(10) H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会（資料なし）

大久保幹事長より、2つのWGで活動していること、8/26の小委員会幹事会で合成桁橋梁の見学会を行ったこと、11/26に小委員会があるので、それまでに1,2回のWG活動をする予定であることが報告された。

11. その他（幹3-19）

大久保幹事長より、資料に基づいて説明がなされた。

(1) 2019 JSCE Annual Meeting International Roundtable Meeting

上田先生がchairを務めたInternational Roundtable Meetingが9/3に開催されたことが報告された。

(2) 国際交流の進め方について

松本副委員長より、H002小委員会の活動状況の説明がなされた。11/7-8に東京工業大学で開催されるYoung Engineers Colloquiumの状況を確認する予定であり、次回幹事会で報告することとなった。これを基に、幹事会としての方向性を検討していくこととなった。

12. 副委員長挨拶

松本副委員長より、閉会の挨拶があった。

以上

（記録：櫻庭）